

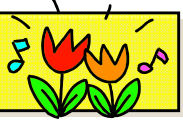
アスモ・たんぽぽ新聞

アスモ新聞はアスモのホームページ www.asumo-kaigo.jpからもご覧になれます。
上記のアドレスか【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。

「人に喜ばれる仕事を！」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

平成26年4月発行

第103号



〒165-0026

中野区新井1-26-4-2F

☎ 03-5318-4007



代表取締役 花堂浩一

「最高の喜び」

人間は「社会的な存在」であることを運命付けられて生まれてくるのだと、児童精神科医の佐々木正美氏は言います。

「社会的な存在」というのは、社会の中で豊かな人間関係をもちながら生きる存在の事です。幼稚園や学校に行くことなく、優れた家庭教師を雇って秀才になったとしても人格は全く形成されないといえます。皇室のお子様が一一般国民と同じ学校で学ぶのもそのためだそうです。

人間は人間関係を通して人間になるのです。他者という存在が非常に重要な役割を果たしているといえます。

人にとってはじめての「他者」とは母親との関係です。

佐々木氏は

「抱っこして欲しい」

「お腹が空いた」

「おっぱいが欲しい」

という赤ちゃんの欲求に、

どれくらいお母さんが

同調できるか、それが

赤ちゃんが人間になつていくために非常に大切だといえます。



たとえば、赤ちゃんは生後1、2か月ほどで、ほぼ笑みの交換をはじめます。赤ちゃんの顔をのぞき込みながら笑いかけると、笑顔を返してきます。やがて生後2、3か月になると、「お母さんにニコにいて欲しい」と要求するようになります。お母さんに用事があつてその場を離れようとするとき泣いて引きとめようとし、用事を終えて戻ってくると機嫌を直します。やがて3、4か月頃になると、ただお母さんがそばにいるだけでは満足しなくなり、自分が望む事、喜ぶことをして欲しいという要求を表現するようになります。

さらに4、5か月になつてくると自分が望んでいることをお母さんも喜ぶながらして欲しいという贅沢な要求になります。

これは別な言い方をすれば、一緒に喜びたい、喜びを分かち合いたいということなのだそう。つまり人間にとつて「喜びを分かち合う」ということが最高の喜びなのです。思いやりとか共感の感情は、喜びを分かち合う経験の中から育つて行くのだと……。

ありがたいことに、私共の仕事は「利用者様の色々な思いに触れ、「分かち合う」ことができます。辛い思いに共感したり、悩んだりしながらも「できた」「うれしい」という喜びの声を聞くことができる素晴らしいお仕事です。

「ケアプランを作成して支援する」「ヘルパーさんを派遣する」「住環境を整え用具を提供する」「施設を探さずお手伝いをする」など、どの部署も仕事である以上その過程には厳しいこともありますが、最終的には「利用者様とそのご家族の「喜び」の気持ちを目指すことができる。」「利用者様によつて育てていただいている」と実感します。

私が、学生時代を通して野球というスポーツに熱中したことや介護というお仕事にスタートさせたこと、その後、地域の少年野球のコーチをしていたことなど、思い返せばすべて「喜びを分かち合う」ということに喜びを感じてきたからなのだと思います。またこれは自分だけではなくどんな人にも言えることだと受け止めていくことで、スタッフやヘルパーの皆様、地域やご利用者様との関係を円滑にしていけることに繋がっていくのではないかと感じました。



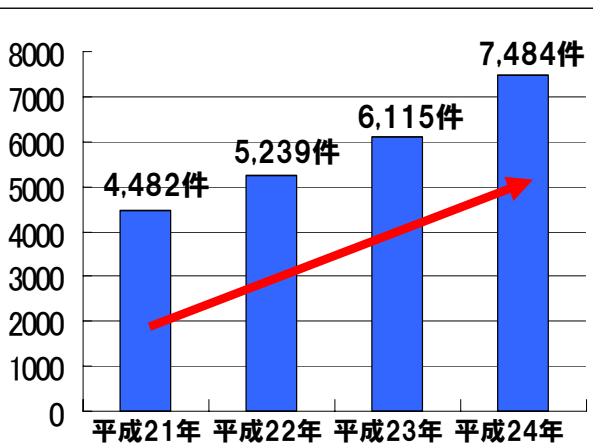
シニアハウスコム 0120-5318-77

こんにちは。相談員の小川です！有料老人ホームは、全国に一体どれくらいあるのかご存知ですか？

今回は、**全国の有料老人ホーム件数の推移**と**東京周辺地域の件数**を調べてみました！



有料老人ホーム件数(全国)の推移

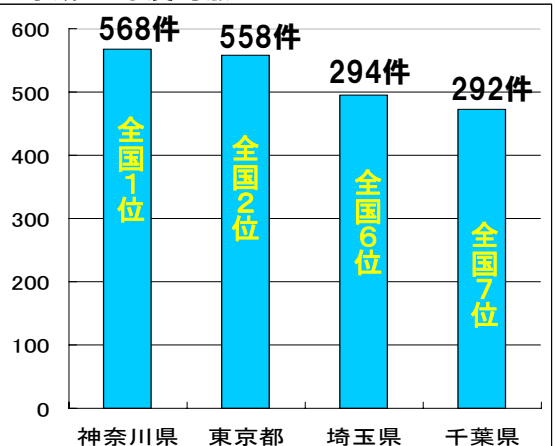


有料老人ホームは、年々、増え続けているんですね！



有料老人ホームの数では、神奈川県が1番多いんですね！

有料老人ホーム件数(地域別) (平成24年度時点)



たか先生の



ここから健康になりましょう♪



最近はずっと暖かい日も増えてきて過ごしやすくなってきましたね。今回は今の季節に多いアレルギーの事について解説していきます。

アレルギーとは本来、体の外から入ってきた細菌やウイルスを防いだり、体のなかに入ってきたがん細胞を排除するのに不可欠な免疫反応が、花粉、ダニ、ほこり、食べ物などに対して過剰に起こることをいいます。過剰な免疫反応の原因となる花粉などを、アレルゲンと呼びます。

アトピー性皮膚炎、花粉症を含むアレルギー性鼻炎などが代表的なアレルギー疾患です。理由ははっきりしませんが、日本を含む先進国で患者が急増しています。

日本でスギの植林が盛んに行われたために、最近になってスギ花粉というアレルゲンが環境中に増え、スギ**花粉症**患者増加につながっています。また、気密性が高まった屋内でダニが増えやすい環境になっています。

さらに、乳幼児期に細菌などが少ない清潔な環境にいると将来、アレルギー疾患にかかりやすくなることも報告されています。そのほか、私たちの身のまわりに存在する化学物質の急増が関係しているとの指摘もあります。

言葉では難しいので図を載せます。

簡単に説明するとアレルギーとは免疫の抗体が少なくおきかたではなくて免疫過剰な状態の事を言います。その他に食物やストレス、自律神経の不調などもアレルギーを引き起こす事もわかっています。検査で自分がどのアレルゲンを持っているかなどがわかるので一度検査に行ってみるのもいいかもしれませんね。

おかげさまで私の肘の具合もずいぶん良くなりました。次回は骨折とその治療過程について解説させていただきます。予定です。



ここから整骨院
中野区大和町1-65-4 増田ビル1F
<http://www.cocokara.clinic.net/>
TEL&FAX 03-5364-9090 日・祝休

免疫とアレルギー (抗体の関与する場合を例にあげて説明)



北原照久氏のちょっといい言葉と懐かしいおもちゃ



1930年代のパラシュート人形です。

今日の言葉は「人は多かれ少なかれ誰かに支えられて生きている」



アメリカ兵のチャールズは敵に撃墜され、パラシュートで脱出に成功しました。数年経ったある日、レストランで食事していると「きみはチャールズじゃないか！きみのパラシュートを詰めたんだよ。どうやらちゃんと開いたようだ」と言われました。もしあの時、パラシュートが開かなかったら、私はこうしてここにいらねえはずがないと思ったそうです。人はみんな、気付かないうちに誰かに様々なパラシュートを詰めてもらっているのです。そうやって考えたら、すべてに感謝して生きていかなければなりません。支えられて「人」ですものね。

北原氏が毎日フェイスブック上に更新している言葉です。北原氏ご本人に直接お願いをして了解を得て掲載しております。



平成26年3月27日(木) 18時から事務所にてミニ勉強会を開催しました。今回は「認知症」について勉強しました。

たんぽぽミニ勉強会のご報告



- ① 認知症の兆しを知る
 - ② 認知症の症状とは
 - ③ 認知症の人の接し方
 - ④ 認知症ケアのポイント
- 認知症の人を正しく理解し、上手に接するコツを勉強しました。
- 参加してくださった8名のヘルパーさん、お疲れ様でした。(たんぽぽ介護所長村岡志づ江)

